

# MRI・MRA検査（脳ドック）

**MRI（磁気共鳴断層撮影）とは**

“Magnetic Resonance Imaging”  
の頭文字をとった略語です。  
磁気によって 断面画像を撮影する検査です。

**MRA（磁気共鳴血管撮影）とは**

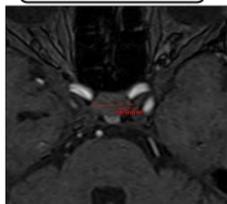
“Magnetic Resonance Angiography”  
の頭文字をとった略語です。  
MRIの装置を使用して、造影剤を使わず、血管  
だけを立体的に画像にして調べることができます。



MRI・MRA検査（脳ドック）は脳血管の状態を調べる検査です。  
脳血管の狭窄や、くも膜下出血の原因になる脳動脈瘤や脳動脈奇形などを調べます。

## 《 MRI・MRAで見つかった所見の一例とその解説 》

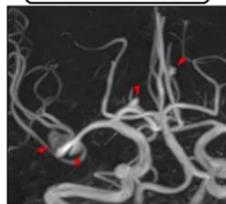
下垂体腫瘍



陳旧性脳梗塞



多発性脳動脈瘤



所見	解説
下垂体腫瘍	下垂体からはさまざまなホルモンが分泌されているので腫瘍化した細胞の種類によって異なる症状が現れます。例えば成長ホルモンを産生する細胞の腫瘍では末端肥大症を発症します。腫瘍が大きくなり視神経を圧迫すると、視野の一部が欠けるような症状が現れることもあります。
脳梗塞	動脈硬化の進行や心臓疾患などで生じた血栓で脳血管が詰まって脳に障害が起きることです。片麻痺や言語障害などの症状を引き起こす場合があります。無症状の場合を無症候性脳梗塞といいます。
脳動脈瘤	脳血管の一部がこぶのようにふくらむもので、血管壁の弱い部分に血圧の上昇などが重なって発生するといわれています。未破裂の脳動脈瘤のある方はもともと種々の心血管リスクがあると考えられています。脳動脈瘤の破裂は、くも膜下出血の原因の70～90%を占めており、働き盛りの成人を突然襲うことでも知られる危険な疾患といわれています。